



西中野サマーキャンプ  
7月12日(土)～13日(日)

夜の学校探検や教室での  
宿泊など、貴重な時間を  
過ごしました。

サバイバル  
飯作り、キャ  
ンプファイヤ  
ーなども体験  
しました。



平成 26 年  
(2014 年)

9/1

編集・発行 鷺宮区民活動センター運営委員会

〒165-0032 中野区鷺宮3丁目22番5号 電話3330-4127 FAX3330-4131

E-mail:nakano\_saginomiya@nifty.com

http://www.nakano-saginomiya.gr.jp/

No.332



地域ニュース

[題字は長谷川昂氏]

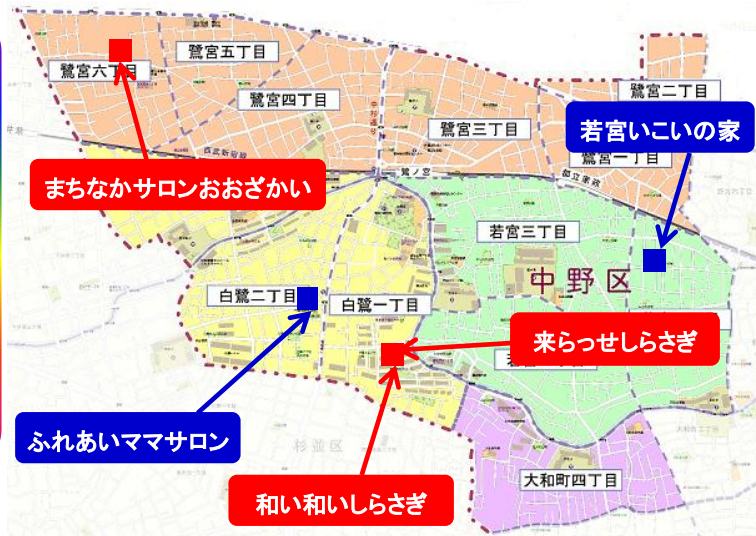
.....お気軽にどうぞ!!.....

# コミュニティサロン

前号に引き続き鷺宮地域のコミュニティサロンをご紹介します。おしゃべりしたりお茶を飲んだりしながら楽しい時間を過ごし、知り合いが増え「地域のつながりが生まれる場」です。新しいコミュニティサロンも続々と登場しています。

問合せ 中野区社会福祉協議会(社協)電話:5380-0751

ふれあいママサロンといこい交流クッキングは、社協の支援を受けずに活動しています。



## 来らっせ(こらっせ)しらすぎ 鷺宮都営住宅第3集会室(白鷺1丁目)

- ◆毎週金曜日 午前10時～12時半
- ◆東日本大震災の避難者対象(交流したい近所の方も歓迎)
- ◆参加無料 ◆問合せ 社協

「来らっせしらすぎ」は、震災のため中野区に避難されている方々の交流の場として、平成23年の秋に仮設集会室で始まり、今年5月から現在の場所で開催しています。毎週20～30名の方々が集まり、美味しいコーヒーやお茶を飲みお漬物を食べながら、お国言葉での会話を楽しんでいます。ご近所の方も参加して、大いに交流を深めています。東北地方の新聞が読めるほか、血圧計・体重計も利用できます。皆さん気さくな方ばかりなので、ぜひお気軽にご参加ください。



## まちなかサロンおおざかい 鷺宮6丁目アパート集会所(鷺宮6-14)

- ◆毎月最終金曜日 午後1時半～3時半(12月は変更あり)
- ◆どなたでも ◆参加費 100円 ◆問合せ 社協

鷺宮6丁目南部町会と社会福祉協議会のスタッフが世話役となり、今年の5月にオープンしたサロンです。おいしいお菓子やお茶をいただきながら、楽しくおしゃべりができる場所です。出入りは自由なので、買い物帰りやちょっとお話をしたい方など、どなたでも参加できます。外出した際に挨拶を交わせる顔なじみができ、地域の見守り活動にも繋がっています。お気軽にお立ち寄りください。



## 和い和いしらすぎ 鷺宮都営住宅第3集会室

- ◆毎月第2・4木曜日 午前10時半～正午
- ◆0～3歳くらいまでの子供と保護者 ◆参加費 200円(親子一組、飲み物・お菓子付) ◆問合せ 社協

0～3歳くらいまでの子供とその保護者の交流の場です。カラフルで柔らかいマットの上に気軽に座り、和やかに過ごしています。子供は月齢・年齢に応じてお昼寝したり、おもちゃで遊んだり。保護者は、子供たちを見ながら楽しくおしゃべり。育児仲間を増やすチャンスなので、初めての方もお気軽にご参加ください。



## ふれあいママサロン 白鷺町会ふれあい館

- ◆毎月第2火曜日 午前10時～正午
- ◆親子 ※要予約 ◆参加費 500円(町会員の方は200円) ◆問合せ ポスターをご覧ください

大勢のお母さんと赤ちゃんが参加していました。利用者の皆さんからは「近くに友達ができ」「マッサージやヨガの間、必要に応じて子供を見てもらえるので助かる」「ママサロンがあるので、この街に来て良かった」などの声がありました。おやつは、できるだけ無添加で体に良いものを用意しているそうです。



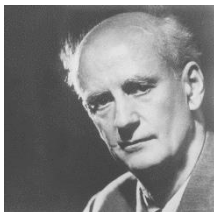
## いこい交流クッキング 若宮いこいの家

- ◆毎月最終火曜日 午前9時～正午
- ◆どなたでも(4日前までに申込み)
- ◆参加費 300円 ◆問合せ 3310-9819(いこいの家)

若宮いこいの家が独自に行っている調理と会食の交流会です。台所のスペースが狭い中、メニューや調理方法を工夫して作っています。調理してもよし、食べるだけでもよし、毎回15～20人の方が参加しています。大勢で食事すると会話も弾み食欲も増すようです。時にはミニ講演会も開かれ、充実した時間が過ごせます。



皆さんも一度、フルトヴェングラーの指揮するレコードかCDを聴いてみてはいかがでしょうか。ただし、ステレオ録音はありません。



フルトヴェングラーはベートーヴェン、ワーグナー、ブラームスといったドイツ系音楽を得意としていました。その中で多くの名演奏が残されているベートーヴェンの作品のうち、交響曲第6番(田園)は、初めて聴いた人はレコードの回転数が違うのではと思われるほどのスローテンポです。特に、交響曲第9番(合唱)のバイロイト音楽祭でのライブ録音(一九五一年)を超える演奏は、未だ現れないとまで言われる名演です。

フルトヴェングラーにまつわるいくつかの逸話があります。彼の指揮は独特のもので、指揮棒が絶えず震えているため、アインザッツ(演奏開始のタイミング)がわかりにくく、楽団員はいつ演奏をスタートしていいのか困惑したそうです。このため別名「振ると面食らう」と称されました。またリハーサルの際に音が大きすぎると指摘し、メンバーが小さな音で演奏してもダメ出し。楽器を奏する真似をしたところ満足したといふ、有名な話も残っています。

今年は往年の名指揮者、フルトヴェングラー(一八八六年～一九五四年)の没後60年になります。いまだにこの人ほど熱狂的なファンが多い指揮者もいないでしょう。私がフルトヴェングラーを知ったのは今から45年も前の事です。ある日、たまたまFM放送から流れてきたベートーヴェンの交響曲第7番を耳にしたとき、私の心は大きく震えました。他の指揮者にはない力強い演奏にすっかりファンになってしまい、今日に至っています。

私の心を激震させた指揮者  
白鷺町会 会長  
高橋 洋雄

